

平成31年1月11日

日本専門医機構による

サブスペシャルティ領域専門医資格認定を希望する学会 各位

一般社団法人 日本専門医機構
サブスペシャルティ領域検討委員会
委員長 渡 辺 毅

サブスペシャルティ領域の機構認定希望について（お伺い）

日本専門医機構サブスペシャルティ領域検討委員会ではサブスペシャルティ領域専門医資格を当機構で認定するための要件（基準）について検討を進めてまいりました。その結果を別紙にお示しする認定のための基本的な考え方としてまとめ、当機構理事会において承認されました。現在、各サブスペシャルティ領域を担当する学会・団体に対して認定のための基本的な考え方に基づく調査票を e メールで送付しております。また、当機構の前期理事会で承認済みのサブスペシャルティ領域と既に当機構に申請等をご提出いただいている学会は別掲のとおりです。現状で、当機構承認に至っていないものの認定を希望されるサブスペシャルティ専門医資格の認定については、調査票にご記載いただいた情報に基づいて審査を行い、必要に応じてヒアリングをさせていただいた後、仮認定を行う予定です。仮認定された場合には、専門医養成のためのプログラム等をご提出いただき、本審査を行ってサブスペシャルティ領域専門医の認定を決定する予定です。なお、サブスペシャルティ領域専門医の申請は次年度以降も期間を定めて実施する予定です。

当機構では、第三者機関としての社会的公平性を担保するために、別掲の一覧に記載がないものの、当機構によってサブスペシャルティ領域専門医資格の認定を希望される学会や団体などを公募することといたしました。応募される場合は、専門医名称、管理団体（学会）名、担当者名、送付先 e メールアドレス、該当基本領域学会名、専門医数（提出時点）を日本専門医機構事務局宛（senmoninintei@rondo.ocn.ne.jp）までご連絡ください。管理団体（学会）宛てに調査票を e メールでご送付申し上げます。別掲の一覧に記載のある領域についてはご連絡の必要はありません。なお、当機構の専門医制度では、サブスペシャルティ領域専門医は基本領域専門医との連続性や関連性が明確である 2 段階制を原則としており、19 基本領域のいずれかの承認が必須であることを申し添えます。

日本専門医機構が把握するサブスペシャリティ領域一覧表
(※専門医及び認定医の名称)

2018年10月現在

前期理事会で認定された領域

内科領域：消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、感染症、老年病、神経内科、リウマチ、

消化器内視鏡、がん薬物療法

外科領域：消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺、
内分泌外科、

放射線領域：放射線診断、放射線治療

(参考)

今までに認定、申請等があった未認定領域等

小児循環器、小児神経、小児血液・がん、周産期、婦人科腫瘍、生殖医療、
手外科、脊椎脊髄外科、頭頸部がん、集中治療、大腸肛門病、美容外科学会、
心療内科、心身医療「内科」、子どものこころ、一般病院連携精神医学、臨床遺伝
漢方、臨床薬理、家庭医療、産業衛生、病態栄養、人間ドック健診、気管食道科
ペインクリニック、臨床神経生理学会、病院総合診療医学会、女性ヘルスケア、
老年精神医学会、緩和医療、食道外科、胃腸科、臨床精神神経薬理学、気管支鏡
インターベンショナルラジオロジー（IVR）、心血管カテーテル治療、
脳(神経)血管内治療、日本輸血・細胞治療学会、肝胆膵外科高度技能、超音波、
核医学、細胞診、透析、血漿交換療法、温泉療法、脳卒中、てんかん、高血圧、
頭痛、脈管、心臓血管麻酔、急性血液浄化(認定指導者)、レーザー、外傷、熱傷
不整脈、睡眠学会、動脈硬化、結核・抗酸菌症、認知症(学会)